



森ボラ 通信

第251号 2023年4月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター
TEL (fax.): (011) 816-7010
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ 活動報告

◆ 冬季セミナー「種から苗木そして森へ」

～ 第4回冬季セミナーは森林再生技術研究所代表 水正貞教さんが講演

3月15日札幌エルプラザで今年度4回目のセミナーが行われました。前半は会員例会で松藤事務局長より「2023澄川環境林基本計画」について説明がなされました。この計画は森ボラの発足した2002年にスタートし、その後5年ごとに見直し今回計画は第5期5カ年計画です。今回の策定に当たっては昨年末より会員メンバー8名が中心となり7回の会議を経て纏められ具体化したものです。資料と説明によれば、まず前期2018年に策定した活動計画の5カ年間の実施状況を振り返り、実施達成率、問題点、今後の課題等を確認し今後5年間(2023～2027年度)の目標と計画に反映したものとなっています。



今回の大きな変更点は名称の変更で「澄川環境林基本計画」から「森ボラの第5期5カ年計画」へ。変更の理由は名称が堅苦しい、又「澄川都市環境林」だけに特化せず森ボラの活動すべてを網羅した計画にしようとの由。計画の骨子は①目標・メイン目標「豊かな生き物を育む巨木の森を目指す」とサブ目標 ②基本方針1・2 ③活動計画1～7 ④活動ルール1～4 の構成からなっており名称変更の趣旨に沿い活動地域も有明、西野、野幌、支笏湖等を含み且、活動の仕方にも新たに「グループ活動」「世話係制度」の試行がうたわれています。活動8地域ごとの年次別5カ年活動計画(案)と2023年度の活動計画(案)(1カ年365日の詳細計画)も示されました。(活動日は148日、内外業日は120日) 全体が立派な計画でこの計画の作成・纏めに携われたメンバー各位の労に感謝します。これからの5年間、頑張りましょう。



後半は講演「種から苗木そして森へ」講師は水正貞教さん・森林再生技術研究所代表

水正さんは営林署OBで85歳(?)、現在は植林の為の苗木を作っており、森ボラも支笏湖、野幌等の植林で同氏より苗木を購入しています。講演では苗木の作り方、播種の時期、播種の床づくり、地拵え、保育等種から苗木までの各段階について説明を受けましたが、同氏の話は実地経験からのお話に基づくものであると感じました。

特に印象に残ったのは種子の採取で、種子は豊作と凶作の年があること、豊作は1年おき、アオダモ等は5・6年おきに1度とのこと。毎年変わらず種ができるのではなく波がある由。苗木の作り方は種から、挿し木から、接ぎ木から、山引きからの4種類。この中で一番容易なのが樹種にもよるが挿し木であること。講演の後の会員からの質問の多くは自身が育てている樹木のことです。流石だなと思いました。セミナーの後は親睦会。場所はコロナ発生前によく利用・重宝した店でしたが、以前の店はコロナで閉店し、新たなオーナーでオープン。残念な結果でしたが、それにもめげずしっかりと懇親の実はあげました。(文・高橋)

◆ 親子森林教室 “森しり隊” 2023 年度 (8年目) の取組み

2016年に始まった親子森林教室“森しり隊”はこの4月から8年目に入ります。7年間の子どもたちの参加は延べ542名、保護者等を含めた外部からの参加者は延べ1,078名となっています。

現在は森ボラの受入キャパの関係で子どもたちの参加を15名程度に絞っているために待機者も出るほど関心が高まっており、あらためて責任の重さを感じています。

親子森林教室の参加人数の推移 (人)

	子どもの参加人数	1年間の延べ参加人数				
		子ども	保護者等	小計	協会員	合計
2016年度 第1期	11	53	52	105	109	214
2017年度 第2期	17	100	79	179	115	294
2018年度 第3期	9	47	46	93	115	208
2019年度 第4期	15	83	82	165	98	263
2020年度 第5期	12	68	86	154	124	278
2021年度 第6期	25	122	135	257	123	380
2022年度 第7期	14	82	65	147	103	250
7年間の合計	103	555	545	1100	787	1887

今更ではありませんが、森ボラが親子森林教室を通してめざすものは、第一に子どもたちに「木や森を知ってもらおう」ことです。それは五感で木や森の変化や、森の役割や手入れが必要なこと、森に棲む生きものと共生していることを知ることです。

2つ目は「森を育てる活動を体験する」ことです。苗木を育てて森に植え、下草刈りをして、傾いている木や混んでいる木を切って森を生き生きとさせる活動を体験し、その活動が森にとって大事なことを学びます。

そして、3つ目は「森の豊かさを感じる」ことです。森の木で工作をし、キノコの菌を植えて収穫し、コクワや樹液を味わいマキ割りをして森の恵をいただきます。こうした森の活動を通して、次世代を担う子供たちに環境保全の心を芽生え育んでいくことをめざしています。

2023年度の参加者は12家族18名(継続8名・新規10名、森しり隊13名・ジュニア4名・OB1名)です。1年間の活動スケジュールは一部変更していますが、前年度の基本方針(一日2活動、1年間の設定)を踏襲し、引き続きコロナ感染防止対策を徹底して次表の通り予定しています。

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
開催日	2023年 4月23日	6月11日	7月9日	9月10日	10月15日	2024年 2月11日	3月3日
場所	澄川環境林	澄川環境林	澄川環境林	野幌森林公園	澄川環境林	澄川環境林	澄川環境林
活動テーマ	森に触れる	木の種をまく	工作をして夜の森を探検する	木を植える	森の運動会に挑戦する	木を切る	森の目覚めを感じて1年間のまとめをする
主な活動項目	・開校式 ・早春の森歩き ・植菌	・木の種を拾って播く ・森の活動フリータイム	・下草刈り ・森の木で工作 ・コウモリとホタルの観察	・植樹祭で木を植える ・野幌の森歩き	・秋の森の大運動会 ・森の活動フリータイム	・動物の足跡を観察 ・チェーンソーの伐木見学 ・整理伐	・樹液採取 ・冬芽の観察 ・修了式

なお、2023年度の参加者募集にあたっては参加者の底辺を広げるために、継続は原則2年目までとし、3年目以上は空きがあった場合に参加を認めることに募集ルールを変更したことを付け加えておきます。

2023年度の親子森林教室はまもなくスタートします。協会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。(事務局)

◆澄川標準木調査の速報

2021年から始めていました2回目の澄川標準木調査が2023年4月11日に終わりました。携わった多くの方々に協力していただきました。速報値として下記に胸高周長の上位20位までのリストを掲載します。1回目調査の結果と合わせてみていただければと思います。今後は分析、考察を重ねて順次皆さんにお知らせする予定です。（文・樫棒）

澄川標準木調査胸高周長上位20位

2回目調査順位	標準木番号	地区	樹種	樹木位置標高(m)	1回目調査(2015年～2017年)A				2回目調査(2021年～2023年)B				
					測定年月日	胸高周長L(cm)	換算直径DBH=L/3.14(cm)	樹高(m)	換算材積0.000135*DBH ² L(m ³)	胸高周長L(cm)	換算直径DBH=L/3.14(cm)	樹高(m)	換算材積0.000135*DBH ² L(m ³)
1	204	D-1	ドロノキ	150.0	2016年11/28	240.5	76.6	34.5	5.579	260.0	82.8	38.5	6.753
2	45	B-1	ミズナラ	141.0	〃	192.5	61.3	24.5	3.233	205.5	65.4	27.0	3.795
3	260	D-6	ヤチダモ	122.0	2016年12/2	191.3	60.9	25.5	3.184	201.0	64.0	31.5	3.594
4	50	B-1	ミズナラ	132.0	2015年11月4日	181.2	57.7	23.5	2.788	199.0	63.4	27.5	3.507
5	76	B-4	ケヤマハンノキ	139.0	2015年11/13	191.5	61.0	18.0	3.192	195.3	62.2	26.0	3.350
6	374	E-7-1	ミズナラ	175.0	2018年5/12	174.0	55.4	15.5	2.524	190.5	60.7	17.5	3.152
7	370	E-7-1	ミズナラ	163.0	2018年5/7	172.7	55.0	17.5	2.478	186.5	59.4	14.0	2.992
8	77	B-4	カラマツ	140.0	2015年11/13	171.0	54.5	21.0	2.419	186.0	59.2	26.0	2.972
9	79	B-4	ハリギリ	138.0	2015年11/13	168.2	53.6	24.5	2.323	185.5	59.1	26.5	2.953
10	276	D-8	カラマツ	115.9	〃	172.5	54.9	24.0	2.471	178.5	56.8	30.0	2.687
11	388	E-7-1	ウダイカンバ	162.9	2018年5/15	163.0	51.9	21.5	2.151	175.0	55.7	23.0	2.560
12	222	D-3	ミズナラ	146.0	2016年11/30	159.3	50.7	14.0	2.033	173.5	55.3	25.5	2.506
13	49	B-1	ヤチダモ	122.0	〃	164.5	52.4	36.0	2.200	173.0	55.1	35.0	2.489
14	653 82	B-5	シラカンバ	166.0	2015年11/17	159.5	50.8	26.5	2.039	173.0	55.1	26.0	2.489
15	294	E-2	クリ	158.8	2016年12/5	169.3	53.9	24.0	2.360	173	55.1	21.5	2.489
16	282	E-1	クリ	173.5	2016年12/5	160.8	51.2	18.5	2.080	171.8	54.7	14.5	2.447
17	290	E-2	ミズナラ	156.7	2016年12/5	153.3	48.8	20.5	1.851	171.2	54.5	22.0	2.426
18	375	E-7-1	ミズナラ	176.0	2018年5/12	161.0	51.3	14.0	2.087	171.0	54.5	22.0	2.419
19	299	E-2	ミズナラ	141.5	2016年12/5	152.7	48.6	15.0	1.833	168.2	53.6	29.5	2.323
20	258	D-6	ヤチダモ	123.0	2016年12/2	157.3	50.1	32.5	1.971	168.0	53.5	35.5	2.316
計				2,942.3	20	3,456.1	1,100.7	451.0	50.796	3,705.5	1,180.1	519.0	60.219
平均				147.1		172.8	55.0	22.6	2.540	185.3	59.0	26.0	3.011

■澄川の自然 44

フキノトウ(キク科)

フキノトウはフキの花。

春一番、地下茎からフキノトウと呼ばれる花のつぼみが出す。

早春のほろにが味のなんともいえぬなつかしい味覚、ミツバと共に数少ない日本生まれの山菜、多年草、そして雌雄異株です。

写真左は雌株、右が雄株。雄株は花粉をいっぱい付け飛ばした後まもなく枯れてしまいます。

雌株は1m位まで伸び果実が熟すとタンポポの綿毛の様に風に運ばれて、どこかで根を張ります。



ちなみに、丸く大きなフキの葉は柔らかく、昔、これをトイレットペーパー代わりに使ったので、「フキ」と呼ばれる説もあります。（写真/三橋・文/西野(澄)）

■今月の幹事会

出席者(4/4):大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・西野(澄)・松藤・矢野・早坂・平・老田

1. 2023年5,6月活動スケジュール(5月幹事会5/10(水)):了承
2. 2023年3月末会計報告、2023年度予算案と新会計基準移行:了承
3. 2023年度森林・山林多面交付金事業:国予算の減額により昨年度の80%程の交付予定。
4. 2023年度親子森林教室第1回予定:8期目、12家族18名(OB含む)
5. 札幌市みどりの管理課打合せ結果:北地区のキャリコ道敷設について現地打合せ4/24。
6. 2023年度グループ活動制度登録:樹木園整備、苗畑管理、コクワ・ヤマブトリ育成、炭焼き、水質調査等
7. 2023年度会員資格:喪失4名、退会4名、名誉会員対象2名、4/1現在会員数63名を了承。
8. 第21回総会:5月8日(月)15:30 札幌エルプラザ 2F 研修室1,2
9. 現場報告 ・整理伐状況報告:了承
10. その他
 - ・2022年度年間活動実績報告:森林保全育成活動124機会、延べ人数1,637名。内部企画25機会。
 - ・エアーコンプレッサー購入と運用:管理責任者の許可なく無断での使用は控える。
 - ・研修旅行概要:20周年行事、10/30~11/2、近畿方面(速水林業・北大和歌山研究林等を予定)
 - ・広報委員会の活動:活動の分担を更新。ホームページの見直しを検討。
 - ・機械管理者の変更:最近の活動状況から更新。修理・廃棄の手順を了承。
 - ・コクワ・山葡萄の棚作成:現地状況を確認しグループ内で検討を継続。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
3月17日(金)	澄川	13	D-6,7 整理伐、駐車場地区整理伐
3月19日(日)	澄川	9	D-6,7 整理伐、コモドの森
3月22日(水)	野幌道有林	12	食害防止網修復
3月25日(土)	澄川	12	E-5 標準木調査、親子森林教室準備
3月28日(火)	有明	-	進入路に雪が堆積し、駐車困難なために活動中止
3月30日(木)	野幌国有林⇒澄川	17	E-5,6 標準木調査、北地区F-1,2 ツル切り・保全
4月2日(日)	澄川	11	E-5 標準木調査、E-4 防獣施設修理
4月5日(水)	ルス生活研究センター 2F	11	幹事会
4月8日(土)	澄川	17	E-7,8 標準木調査、樹木園調査、機器整理
4月11日(火)	澄川	11	E-7,8 標準木調査、ツル保護、ホダ木調査
4月14日(金)	澄川		